

『自動車整備士 1 級小型筆記 問題と解説 令和元年版』
に関するお詫びと訂正のご案内

『自動車整備士 1 級小型筆記 問題と解説 令和元年版』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正致しますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願いいたします。

ご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。よろしくお願い申し上げます。

第 2 章 エンジン 3. リニア信号センサ 2 温度センサの計算問題 61 ページの最初 【2】計算式 ④ のつづき	誤	この並列抵抗は \square 1.5k Ω の抵抗と直列に接続してあるため、並列抵抗の分圧は次のとおりとなります。 $\text{分圧} = \frac{1.0\Omega}{1.0\text{k}\Omega + \square 1.5\text{k}\Omega} \times 5\text{V} = \frac{5.0}{2.5}\text{V} = 2\text{V}$
	正	この並列抵抗は \square 1.5k Ω の抵抗と直列に接続してあるため、並列抵抗の分圧は次のとおりとなります。 $\text{分圧} = \frac{1.0\text{k}\Omega}{1.0\text{k}\Omega + \square 1.5\text{k}\Omega} \times 5\text{V} = \frac{5.0}{2.5}\text{V} = 2\text{V}$
第 2 章 エンジン 3. リニア信号センサ 2 温度センサの計算問題 64 ページの中ほど 【3】計算式 ③	誤	この並列抵抗は \square 1.5k Ω の抵抗と直列に接続してあるため、並列抵抗の分圧は次のとおりとなります。 $\text{分圧} = \frac{0.75\Omega}{0.75\text{k}\Omega + \square 1.5\text{k}\Omega} \times 5\text{V} = \frac{1}{3} \times 5\text{V} = \frac{5}{3}\text{V}$
	正	この並列抵抗は \square 1.5k Ω の抵抗と直列に接続してあるため、並列抵抗の分圧は次のとおりとなります。 $\text{分圧} = \frac{0.75\text{k}\Omega}{0.75\text{k}\Omega + \square 1.5\text{k}\Omega} \times 5\text{V} = \frac{1}{3} \times 5\text{V} = \frac{5}{3}\text{V}$
第 3 章 シャシ 6. オート・エアコン 2 リニア信号センサ 323 ページ ！ ポイント解説 【4】	誤	【4】 4. 仮に信号線が断線している状態では、 $V_2 = 0\text{V}$ 、 $V_5 = \text{約}5\text{V}$ となる。また、信号線が地絡している状態では、 $V_2 = 0\text{V}$ 、 $V_5 = 0\text{V}$ となる。信号アース線が断続している状態では、 $V_2 = 0\text{V}$ 、 $V_5 = \text{約}5\text{V}$ となる。従って、… (略) …
	正	【4】 4. 仮に信号線が断線している状態では、 $V_2 = 0\text{V}$ 、 $V_5 = \text{約}5\text{V}$ となる。また、信号線が地絡している状態では、 $V_2 = 0\text{V}$ 、 $V_5 = 0\text{V}$ となる。信号アース線が 断線 している状態では、 $V_2 = 0\text{V}$ 、 $V_5 = \text{約}5\text{V}$ となる。従って、… (略) …